


## 受賞者の声（公開）

氏名	金川 哲也	
受賞時所属	(所属) 筑波大学システム情報系	
	(職名) 准教授	
現所属	(所属) 筑波大学システム情報系	
	(職名) 准教授	
受賞テーマ名	水管の損傷回避と洗浄を両立可能な新技術の開発	
<b>受賞テーマにおける研究活動の現況</b>		
<p>水流中の衝撃波をソリトンに変換し損傷を回避すること、また衝撃波の利用により洗浄を狙う構想の実現と技術化を目指しています。そのための基礎的検討を、主として数理的手法を用いて遂行し、成果論文が国際誌に多数採択されました。</p>		
<b>今後における研究活動の展望</b>		
<p>基礎研究から技術開発のステージに進みたいと考えております。私自身は基礎研究の専門で、技術開発型の研究を不得手としております。そのため、企業等との共同研究等に結び付けたいと考えております。</p>		
<b>受賞後の反響・各賞の受賞等</b>		
<p>受賞内容に関しては、企業からの問合せを頂き、面談等を行いました。</p> <p>受賞後、学会等の基調講演や招待講演の依頼を頂きました。また、日本流体力学会より竜門賞を、所属機関の筑波大学より <b>BEST FACULTY MEMBER</b> を受賞することができました。</p>		
<b>わかしゃち奨励賞への期待</b>		
<p>私のように基礎研究や理論研究を主体としていた研究者が、技術開発など不得手の新領域への参入を奨励下さった意味で、素晴らしい表彰制度と感謝しております。また、現状、愛知県や東海地方からの受賞者が多いと見受けられますが（私自身も三重県の出身です）、認知度がさらにあがり、全国からより多くの若手研究者が目指す賞へと発展することを期待します。</p>		